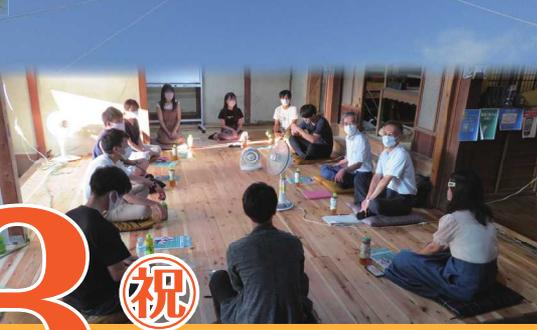


令和2年度 ふるさとづくり青年隊

活動報告会

参加費
無料

つなげ！ ふるさと・ひと・みらい！



令和3年

2/23

祝
火

13:00 ~ 16:15 (受付) 12:30~

オンライン開催 (Zoom)

タイムスケジュール

- 13:00 開会
- 13:15 各団体の活動報告 (動画)
- 15:15 代表者フォーラム~ふりかえり~
- 15:55 投票・講評
- 16:15 閉会

新規団体

- NPO法人 環境ユースイングてんま (稲美町)
- 考える人 (神戸市中央区)
- 学生拠点プロジェクト in 三田 (三田市)
- 南あわじ市市吊り玉祭実行委員会 (南あわじ市)
- 淡河町地域振興推進協議会 (神戸市北区)
- 瀬川平倶楽部 (香美町)

継続団体

- はたらく、さよう。運営委員会 (佐用町)
- NPO法人 里野山家 (三田市)
- 播州いのべ〜団 (加西市)
- 佐治倶楽部 (丹波市)

オンライン会場はこちら



事業実施団体

主催



公益財団法人

兵庫県青少年本部・兵庫県

Zoom URL ▶ <https://us02web.zoom.us/j/87408386053?pwd=TzBZKzNkNkpYQStUT05kVHVVCn2g5dz09>

事業実施団体紹介

■ お問い合わせ・お申込み先


 公益財団法人
兵庫県青少年本部

活動支援部 TEL.078-891-7410

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 (兵庫県民会館 8 階)
<https://seishonen.or.jp/honbu/> ✉ katsudoshien@seishonen.or.jp



新規団体 NPO法人 環境ユースイングてんま (稲美町)



「いなみ野水辺の里公園」を拠点として、大勢の子どもたちとその家族が参加するイベントやセミナーを開催し、生命や食や自然を愛する心を育み、参加者同士のつながりを深めた。

新規団体 考える人 (神戸市中央区)



神戸元町商店街のレトロな雰囲気を活かしつつ、4~6番街の店舗に焦点が当たるイベントを開催した。商店街の活性化のためにできる「自分のやりたいこと」を、商店街の持つ物語を発見しながら、楽しみながら来場者へ発信した。

新規団体 学生拠点プロジェクト in 三田 (三田市)



築100年の空き家を再生し、学生の活動拠点をまちなかにつくり、学生が三田で活動するきっかけ作りを進めている。拠点はみんなで使い方を決めたり、DIYしたり、今後は様々なイベントを仕掛けていく。

新規団体 南あわじ市市吊り玉祭実行委員会 (南あわじ市)



「吊り玉祭」のイベントをコロナウイルスにより中止し、子ども向け玉ねぎ絵本の制作に変更。印刷、製本後は淡路島内の保育園等に寄贈予定。対人、心の距離が開いてしまった昨今の社会下で、手作りの温かさと笑顔を届けたい。

新規団体 淡河町地域振興推進協議会 (神戸市北区)



豊かな自然と歴史文化を育む美しい農村地域で、定住人口と交流人口の増加を目的に、地域資源を活かして様々な取り組みを行っている。青年と交流を図りながら実行していきたい。

新規団体 瀬川平倶楽部 (香美町)



日本百景「瀬川平 (とろかわだいら)」で地域活性化を目的とした音楽イベントを開催し、青年の感性を活かしながら、地域住民と共に企画運営した。参加青年にとって第2のふるさとなるよう一緒に取り組んだ。

継続団体 はたらく、さよう。運営委員会 (佐用町)



地元企業の経営者・就労者へのインタビューや、地方で暮らす上で役立つ情報を中心としたローカルメディアを運営し、移住希望者や関係人口を増やすことを目指している。今後は更に、読者のニーズを掘り起こし、事業継続に向けても取り組みたい。

継続団体 NPO法人 里野山家 (三田市)



高平の里山の自然や美味しい食べ物の育成に携わり、育てた味を堪能し、そこに住む人々と交流して、感じたことを都市住民にも発信している。公募青年には、地域の団体青年と共に何かを創り上げていく楽しさを味わってほしい。

団体青年と共に何かを創り上げていく楽しさを味わってほしい。

継続団体 播州いのべ〜団 (加西市)



例年開催の音楽イベントは、コロナウイルス感染拡大のため中止し、今年度は新たに知名度の低い加西市で、「熱気球搭乗体験」を実施した。我が町の楽しさや活気を発信し、知名度のUPを図りたい。スローガンは『共にチャレンジする!』

継続団体 佐治倶楽部 (丹波市)



宿場町の風情が残る佐治で、空き家を利用して月1回マルシェ的なイベントを実施している。地元商店や自治協議会と協働で実施し、みんなが愛着を感じる魅力的な外部空間を演出し、佐治で1日ゆったりと休日を過ごすことをテーマにしている。若者の斬新な企画も実施し、長期継続を目指している。